

LMYC2021 年度

冬季ホワイトセールクルージング帆走指示書

【主催】ラグナマリーナヨットクラブ・ホワイトセールクルージング準備委員会

【協力】株式会社ラグナマリーナ

【開催地】愛知県蒲郡市海陽町 2-1 ラグナマリーナ

1 帆走指示書の変更

1.1 帆走指示書の変更は、クルージングが開催される当日の出艇申告受付開始までに通告される。

2 参加者とのコミュニケーション

2.1 参加者への通告は、ラグナマリーナヨットクラブホームページ

(<https://www.lmyc.jp/>)に設置された公式掲示板に掲示される。

2.2 以下の連絡は、ホワイトセールクルージング委員長が VHF 無線チャンネル 73chや音響、携帯電話やスマートフォン等(以下、電話等とする)で行う場合がある。

- ・スタートの状況。
- ・クルージングコースの短縮
- ・クルージング中止の場合

2.3 クルージング中のいかなる通信形態・情報内容の制限は行わない。

3 クルージング日程

3.1 2月冬季ホワイトセールクルージング日程

2022年2月12日(土)17時までに参加申し込み

2月13日(日)10:30 艇長会議

11:55 予告信号(29f未満)

12:15 予告信号(29f以上)

14:30 タイム・リミット

3.2 3月冬季ホワイトセールクルージング日程

2022年3月5日(土)17時までに参加申し込み

3月6日(日)10:30 艇長会議

11:55 予告信号(29f未満)

12:15 予告信号(29f以上)

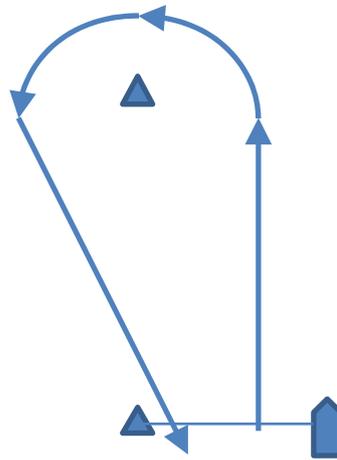
14:30 タイム・リミット

4 艇長会議と出艇申告書

- 4.1 ホワイトセールクルージング委員長は、艇長会議をラグナマリーナプライベートガーデンにて開催する。クルージング参加艇の出艇申告書に記載される艇長は出席すること。欠席による情報の不通知や変更があったとしても、公示3の責任の所在の事項の責任は免れない。
- 4.2 ホワイトセールクルージング実務委員は各艇持ち回りで担当する。ホワイトセールクルージング実務委員は本部艇に乗船しホワイトセールクルージング委員長の指示のもと本部船の実務をする。ホワイトセールクルージング委員長は、次月のホワイトセールクルージング実務委員を決定すること。当月ホワイトセールクルージング実務委員が急用等により参加できない場合は、ホワイトセールクルージング準備委員会代表または副代表が代りをする。
- 4.3 監視艇の補助業務を行うボランティア2名は、ホワイトセールクルージング委員長が翌月のボランティアの希望者を募り決定する。ボランティアが急用等により参加できない場合は、ホワイトセールクルージング準備委員会代表または副代表が代りをする。
- 4.4 出艇申告書とエントリー費は、艇長会議開催時にホワイトセールクルージング委員長に提出するものとし、様式に定めるすべての事項を記入して提出しなければならない。
- 4.5 一度支払われたエントリー費は返却されない。

5 クルージン・エリア 及びコース

- 5.1 クルージングコース、中間地点並びに回航方向等については、艇長会議にて書面若しくは口頭で指示される。
- 5.2 下記の見取り図は、上下コースの場合の通過するマークをどちら側に見て通過するかを示す。



- 5.3 上・下コースの他に天候等条件が揃えば、大島周りは時計回りまたは反時計周りを実施する。ただし、大島浅瀬の注意喚起をすること。
- 5.4 上・下コースと大島廻りのクルージング・エリアは、SI 添付図 1 に示す。
- 5.5 蒲郡・豊橋航路への航行を禁止する。
- 5.6 競技会等で利用されているレース海面は避けて航行すること。

6 マーク

- 6.1 マークは、ピンク色円錐形、オレンジ色三角錐形、または黄色円柱形とする。

7 スタート

- 7.1 予告信号をスタート信号の 5 分前とし、スタートさせる。
 - 5 分前 予告信号 ホーン 1 声
 - 4 分前 準備信号 ホーン 1 声
 - 1 分前 1分 ホーン長音 1 声
 - 0 分 スタート信号 ホーン 1 声
- 7.2 スタート・ラインは、右舷の端にある本部艇上のマストと、左舷の端のスタート・マークのコース側との間とする。当月ホワイトセールクルージング実務委員はホワイトセールクルージング委員長の指示のもと本部艇に乗船し、走錨しないように確実にアンカリングの手伝いをする。スタート時はタイマーやホーンを分担する。参加艇が全艇スタートしたことをエントリーリストに記載し記録する。
- 7.3 スタート信号時に艇体の一部がスタート・ラインのコース側にあり、その艇が特定される場合には、実務委員は VHF チャンネル 73ch で、その艇名を送信するように努める。
- 7.4 スタート信号後 10 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった (DNS)』と記録される。

8 コース短縮

- 8.1 天候や海況により中間地点において、コース短縮をする場合がある。コース短縮時のフィニッシュ・ラインは、監視艇と中間マークの間とする。
- 8.2 コース短縮時はホーン長音又は国際 VHF、電話等による通信による方法で知らせる。

9 フィニッシュ

- 9.1 フィニッシュ・ラインは、本部艇上のマストと、フィニッシュ・マークのコース側との間とする。
- 9.2 本部艇のホワイトセールクルージング実務委員は、参加艇がフィニッシュしたと同時にホーンを鳴らしエントリーリストにフィニッシュ時間を記録する。スタートした艇が全艇フィニッシュしたことを確認する。通過による目視のほか、国際 VHF、電話等による通信による方法も認める。
- 9.3 クルージング参加艇がフィニッシュ又は所定の位置を通過した時、フィニッシュのホーンが鳴らなかった場合には、速やかに本部艇が確認するまでその旨を直接通知しなければならない。やむを得ない場合は国際 VHF、電話等の通信で本部艇が確認を取れば可能とする。
- 9.4 艇のリタイア等で棄権する場合は、速やかにクルージング委員長に直接または国際 VHF、電話等による通信で確実に通知しなければならない。この通知は他艇や他者に託してはならない。

10 タイム・リミット

- 10.1 クルージングのタイム・リミットは 29f未満の艇は 150 分とする。29f以上の艇は 130 分とする。
- 10.2 タイム・リミット以内にフィニッシュしなかった艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』と記録される。

11 安全規定

- 11.1 出艇申告書を提出し、スタートをしない艇またはリタイアした艇は、その旨を本部艇に速やかに報告しなければならない。またこれらの報告は当該艇長が行わなければならない、第三者に伝言を託してはならない。
- 11.2 クルージング参加者は、衣服を一時的に追加したり脱いだりする場合を除き、クルージングの開催中やその前後を問わず海上にいる間は状況に適した個人用浮揚用具を常に使用できる状態着用しなければならない。
- 11.3 参加艇は、フィニッシュ後マリーナに帰着せずにクルージングを続ける場合は、その旨をクルージング委員長にすみやかに報告すること。このことにより、本クルージング開催要項からの離脱とする。
- 11.4 気象・海象に注意し、気象警報(風・波等)が発令された場合及び次の基準に達した場合、又は同基準が予想される場合にはクルージングを中止する。
風:平均 20 ノット以上 波高:1.5m以上 視程:1マイル以下

12 肖像権

- 12.1 参加者及び参加艇は、本クルージングシリーズに参加することにより、シリーズ期間中の参加者及び参加艇またはその装備に関する動画、スチール写真および生中継、録画あるいは撮影さ

れた映像またはその製販について、対価を求めることなくラグナマリーナヨットクラブおよび株式会社ラグナマリーナに独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

13 運営艇

13.1 本部艇はオレンジ旗をマストトップに、クラブバージをスターンに掲揚する。

13.2 監視艇の標識は、LMYC ラグナマリーナ旗とする。



14 無線通信

14.1 クルージング中の通信の制限は行わない。



15 連絡先

冬季ホワイトセールクルージング委員長・本部艇「BELLE8」
熊田良三 090-3256-3533

当月ホワイトセールクルージング実務委員
毎月の艇長会議で連絡

ホワイトセールクルージング準備委員会代表
前田孝子 090-4466-3800

ホワイトセールクルージング準備委員会副代表
梶田博正 080-2614-5631

監視艇「SAUVEUR」
ドライバー・岩永和義 080-2666-4326

ラグナマリーナ 0533-58-2950

三河海上保安署 0532-34-0118

以上

添付図 1

ホワイトセールクルージングエリア図

- ・ラグナマリーナ湾口灯台（三河湾ラグナマリーナ海陽西防波堤灯台）より
220° 2.5 マイル地点を中心とする半径 2.5 マイルの円内海域
- ・蒲郡・豊橋航路への航行を禁止する。

